



月刊 部品新聞

2006年1月 第3号

編集・発行 Unit

亜細亜大箱根駅伝初優勝

元旦からスポーツイベントが目白押しです。のんびりテレビ観戦しております。サッカーやラグビー、アメリカンフットボールなどいろいろありますが、正月のスポーツといえば私にとってはやはり箱根駅伝です。

実家が神奈川県ということもあり、子供の頃から正月のテレビ番組といえばこれしかありませんでした。

今回はこの箱根駅伝について私なりの分析を試してみたいと思います。

まずは成績から。

- 往路
- 1 順天堂大学
 - 2 駒澤大学
 - 3 中央大学
 - 4 山梨学院大学
 - 5 日本大学
 - 6 亜細亜大学
 - 7 東洋大学
 - 8 東海大学
 - 9 早稲田大学
 - 10 神奈川大学
 - 11 大東文化大学
 - 12 國學院大学
 - 13 城西大学
 - 14 日本体育大学
 - 15 法政大学
 - 16 明治大学
 - 17 専修大学
 - 18 中央学院大学
 - 19 国士館大学
- 復路
- 1 法政大学
 - 2 亜細亜大学
 - 3 日本体育大学
 - 4 東海大学
 - 5 城西大学
 - 6 山梨学院大学

- 7 日本大学
- 8 中央学院大学
 - 9 専修大学
 - 10 順天堂大学
 - 11 駒澤大学
 - 12 大東文化大学
 - 13 東洋大学
 - 14 中央大学
 - 15 早稲田大学
 - 16 國學院大学
 - 17 神奈川大学
 - 18 国士館大学
 - 19 明治大学

総合

- 1 亜細亜大学
- 2 山梨学院大学
- 3 日本大学
- 4 順天堂大学
- 5 駒澤大学
- 6 東海大学
- 7 法政大学
- 8 中央大学
- 9 日本体育大学
- 10 東洋大学
- 11 城西大学
- 12 大東文化大学
- 13 早稲田大学
- 14 國學院大学
- 15 専修大学
- 16 神奈川大学
- 17 中央学院大学
- 18 明治大学
- 19 国士館大学

勝敗を分けるもの

駅伝の場合、それぞれの区間でライバルに勝つことも重要ですが、それよりもゴールでライバルたちに勝たなければなりません。5区あるうちの4区でライバルに勝ったとしても、最後の5区で逆転されてしまえば敗北となります。

ライバル校が何区に

どのくらいの力を持つ選手をおくりこむのか、それによりこちらの戦略を考える。所属する選手の技術、体力をもとに監督は戦略を練らなければなりません。

戦術の読み違い

戦術を間違えてしまったと思われるのは区間賞を2回も取っていないながら総合で17位になつてしまった中央学院大学ではないでしょうか。

1区は選手個人の戦術はよかつたと思います。他にも記録的には速い選手は何人もいたのですが、集団から抜け出し区間賞を取りました。しかし、8区の区間

賞に関しては、全体的はずれで、全体の戦術として空回りしてしまいました。

また、監督が考える戦術は問題がなかったが、選手自身が考えるその区間の戦術に失敗したのが順天堂大学8区の選手です。

やはりこのような舞台上で緊張していたのか、気象環境のことを戦術に入れることを忘れてしまったのでしょうか。いきなり自分のペースに近いスピードで走り始め、結果として脱水症状を起こしてしまいました。

逆に監督の戦術がぴったりと合ったのが総合優勝を行った亜細亜大学です。

順天堂大学の様に選手が緊張してしまうことを考慮し、5kmごとに腕を回して確認をさせる。そのことにより過度の緊張を防ぎ、

全体の戦術に狂いのないようにする。見事な戦術であったと思います。

監督の仕事と解説

このように特にチームスポーツにおいては個々の体力や技術も大切ですが、戦術も非常に重要になってきます。

監督、コーチはこれらのことを考慮し戦術をくまなければいけません。

コンプスの卵と一緒にあつたからそれを解説することは誰にでもできることですが、最初にそれを考えるのは非常に大変です。

スポーツ種目を問わずそのような監督、コーチと仕事をしたいものです。

本年も皆様方にとって良い年になりますようお願いしております。

第82回東京箱根間往復大学駅伝順位

	1区	2区	3区	4区	5区	6区	7区	8区	9区	10区
亜細亜大学	9	13	7	7	6	7	5	2	1	1
山梨学院大学	12	1	1	2	4	2	3	3	4	2
日本大学	4	15	6	8	5	6	7	6	5	3
順天堂大学	11	12	9	6	1	1	1	4	3	4
駒澤大学	2	5	5	5	2	3	4	1	2	5
東海大学	14	11	4	4	8	8	9	7	6	6
法政大学	17	17	15	14	15	11	10	8	8	7
中央大学	3	3	2	1	3	4	2	5	7	8
日本体育大学	16	6	13	16	14	12	12	13	10	9
東洋大学	5	2	3	3	7	5	6	10	12	10
城西大学	8	10	8	12	13	13	13	11	13	11
大東文化大学	13	14	12	12	11	9	11	12	11	12
早稲田大学	7	8	10	9	9	10	8	9	9	13
國學院大学	10	7	11	10	12	16	15	14	14	14
専修大学	18	16	17	17	17	15	16	16	16	15
神奈川大学	15	9	14	11	10	14	14	15	15	16
中央学院大学	1	4	18	19	18	18	18	17	17	17
明治大学	6	18	16	15	16	17	17	18	18	18
国士館大学	19	19	19	18	19	19	19	19	19	19

Unit代表 澤野 博(さわの ひろし)

日本体育大学卒。社会人経験を経て欧州へ留学。乳酸を中心としてトレーニングを幅広く学ぶ。帰国後、部品となって選手を支えるという意味で「Unit」を設立。競技種目、競技レベルを問わずトレーニング指導を中心に活動。医療系国家資格の臨床検査技師の資格を持つ異色のトレーニングコーチ。

ご意見、ご要望、仕事依頼、お問い合わせは下記まで。

0422-34-5055 (Fax 兼用)、090-1999-2845 または unit@mbd.nifty.com